市内で行われたイベントや行事、まちの話題を写真と一緒に紹介します。
また、みよし市ホームページでは「Topics（まちの話題）」と「市政番組『みよしTODAY』動画配信」でイベントや行事の様子を紹介しています。URL http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp

勝利を目指して全力プレー

みよし市長杯争奪中学校総合体育大会

中学生に広くスポーツ実践の機会を与え、体力の増進と技術の向上を図るとともに、学校間の交流を盛んにしようと4月29日、三好公園など3会場でみよし市長杯争奪中学校総合体育大会が行われました。野球やバレーボール、柔道など8種目が行われたこの大会。三好公園野球場で行われた開会式では、佐堀守秀（さほりもりひで）教育委員長が「今日は良い天気となりました。十分に力を発揮し、戦ってくれることを期待します」とあいさつ。その後、三好中学校野球部キャプテンの伊藤和真（いとうかずま）くんが「日ごろの練習成果を十分に発揮し、最後の一球まで全力でプレーすることを誓います」と元気良く選手宣誓をしました。開会式の後は各種目ごとに試合会場に移動し、チームメイトや家族の応援を背に、チーム一丸となって優勝を目指して熱戦を繰り広げました。

カヌーシーズンの幕開け

スプリングスプリントカヌー競技大会

全国でカヌー競技に取り組む選手を対象に、日ごろの練習成果を発揮してもらうとともに、選手同士の交流の場にしてもらおうと4月27日と28日の2日間、三好池カヌー競技場で2013スプリングスプリントカヌー競技大会が行われました。愛知県カヌー協会主催で毎年行われるこの大会に、今年は市内外から214人の選手が参加。カヤック、カナディアンにそれぞれ分かれ、全長500mのコースで競い合いました。大会2日目の28日には準決勝と決勝が行われ、選手たちはチームメイトの応援を受けながら、水しぶきを上げパドルをこぎ続けていました。

おいしいお米ができるかな

田植え体験会

市内の遊休農地を活用して多くの人に農業に関心を持ってもらおうと5月4日、打越町地内の田んぼで田植え体験会が行われました。NPO法人みよし協働農園の会の主催で行われたこの催しに、大人17人子ども28人が参加。みよし協働農園の会の竹下正道（たけしたまさみち）さんから苗の植え方や注意点を聞いた後、早速はだしになって田んぼに入りました。初めはぬかるみに驚いたり、中腰の姿勢での慣れない田植え作業に苗が傾いてしまったりと四苦八苦。それでも時間がたつにつれて慣れてきた参加者は、だんだん作業もスピードアップし、一本一本丁寧に苗を植えていきました。苗を植え終えた後は、田んぼの環境を良い状態に保つために、みんなでタニシとドジョウを放流しました。

今年も大盛況

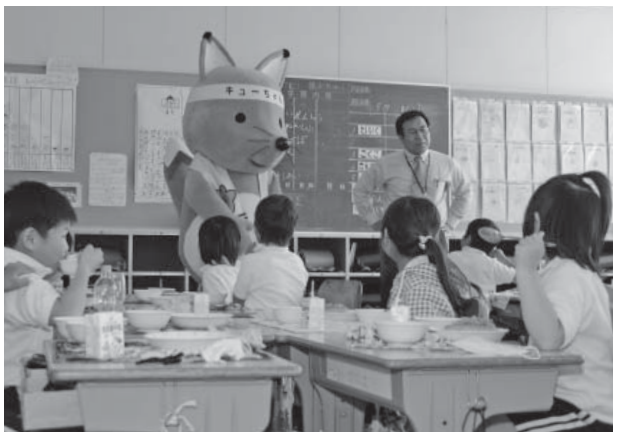
サンアートフェスタ2013

市民の皆さんにもっとサンアートを利用してもらうとともに、家族や友達と楽しい休日の思い出をつくってもらおうと5月6日、サンアートでサンアートフェスタ2013が行われました。この日は絶好の行楽日和に恵まれ、駐車場が満車になるほどの大盛況。市民広場では、ステージで龍桜流（りゅうおう）やぐら太鼓による演奏や子どもたちのダンスパフォーマンスが披露された他、地元農産物の販売やグルメコーナーが設けられ、朝から多くの人でにぎわいました。他にも、輪投げやガンシューティングなどのミニゲームやフリーマーケットが行われ、大人から子どもまで楽しい休日を過ごしていました。

大輪の白い花

あいちの花「フォーミディブル」の展示

花の生産日本一として多くの種類の花卉（かき）を生産している愛知県では、毎月「あいちの花」を定め、主要生産地でPR活動を行っています。5月のあいちの花にみよし市や豊田市で主に生産される「フォーミディブル」が選ばれたことを記念して5月7日、市役所の受付や各フロアのエレベーターホールなどに飾られました。この日は、打越町にある福岡洋蘭園園主の福岡長正（ふくおかながまさ）さんが丹精込めて育てたフォーミディブル10鉢を持って市役所を訪れ、「週に2回程度、茎の根元に水をあげてください」と手入れの方法を説明し、市職員に手渡しました。



キューちゃんと一緒に元気もりもり

元気もりもり集会（中部小学校）

中部小学校では5月7日から17日までの2週間を「元気もりもり週間」と定め、自分の健康や体力の増進に対する意識を高めるとともに、きちんとした食事や運動習慣づくりに取り組んでいます。初日となる5月7日、中部小学校の中庭で元気もりもり集会が行われました。休み時間を使って行われたこの集会には、多くの児童が参加。みよし市健康づくり大使のキューちゃんも飛び入りで参加し、一緒にテレビドラマの主題歌となった「マル・マル・モリ・モリ」を歌いながら踊ったり、保健・給食・体育それぞれの担当教師から健康や運動に関するお話を聞きました。また、給食の時間になるとキューちゃんと江口修校長（えぐちおさむ）が各クラスを訪れ、「給食を残さず食べて、元気もりもりになってね」と児童に話し掛けていました。

心に響く芸術の数々

春の文化展

文化協会に所属する各部会の活動の成果を発表する機会にしようと5月9日から12日までの4日間、サンアートで春の文化展が行われました。「深めよう、文化交流」をテーマに、毎年この時期に行われるこの催し。レセプションホールやロビーでは絵画や彫刻、陶芸などの作品およそ500点が展示され、11日には大ホールで芸能発表、12日にはふるさと会館で市民茶会がそれぞれ行われました。11日の芸能発表では、初めに文化協会の近藤隆治（こんどうりゅうじ）会長が「今日はそれぞれの分野でご活躍、練習されている人たちの素晴らしい発表がご覧できると思います。楽しみにご観覧ください」とあいさつ。その後、13団体153人の華麗な歌声や舞踊、太鼓の演奏などが披露され、会場は大いに盛り上がっていました。